

新潟県 公民館月報

昭和33年4月1日(毎月1回1日発行)

発行所 新潟県公民館連絡協議会
〔新潟市一番町通町・県教育庁社会教育課内〕
〔電話(新潟) 35511の624〕
〔振替(新潟) 4094〕

発行人 飛田一郎
(定価 1部15円)

4月号 (134号)

国体前の健民運動

公民館のなすべきことなど確認

国体冬季大会は成功のうちに終わったが、あと数日で本番の夏季大会がやってくる。健民運動もいよいよ総仕上げの段階にはいり、さる3月13日の両日中越婦人会館(長岡)で行なわれた県公民館運営研究会でも「健民運動を推進するために公民館活動はいかにあるべきか」が主題としてとり上げられた。この結果、清潔、親切、健康、安全の健民運動四つの柱の盛り上げのため公民館でも別編のとおり八項目からなる重点推進事項の徹底に、いっそう力を入れていくことになった。

緑の下の「が参加、冬季大会会場地であった力持ち 高田市の例や、新発田市における運営研究会は、実際の推進状況などが発表された。内各地から約70名ほか、「健民運動の抱負と公民館」などが確認され、それぞれ地域に持ち帰られた。

目下の目標 健民運動は全県民の運動であって、これを推進する団体機関としては、本会のほか公衆衛生推進協、婦人青年団体、商工会、各種同業組合、各学校、同PTA、国鉄、自動車関係協会、消防協会、新生会、運動会町内会、部会、報道機関等があるが、それぞれ推進事項を重点的に分担して行っている。事務局は、国体実行委員会(会長 塚田知事、国体事務局)内にある新潟県公民館協議会にあり、この運動は単に国体会場地や期間中だけのものでなく、国体のあとまで継続して実施されていくことが全県民の中よりの慣習として定着していつてほしい、というのが目的である。

公民館としては、別編のような重点推進事項の徹底をはかることが目下の目標で、国体開催前の各週間に、それぞれの推進事項を結びつけていくことが望まれている。

目次

施設費定率補助へ前進	P. 2
昭和33年度県公庫予算	P. 3
36年度県文化財紹介	P. 4・5
第一回広報コンクール結果	P. 6
ある婦人会長の手紙から	P. 7

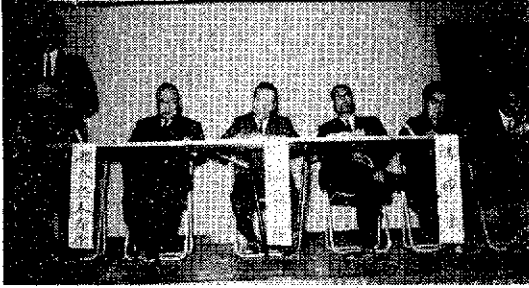
4月の歴史

四月16日生れ、ことし76才、ロンドンに生れた偉大な芸術家、幼時から舞台上に立ったが、アメリカに渡って映画を自作自演全世界の大衆に愛されている。

チャップリン

テリン、世の中のこと何をもかも無駄のように思われてきた。花を見て、音楽をきいても、みんな何の目的もない、無意味なまよに思われてきたのに、カルヴェロ、意味を求めたって、はじまらないよ。人生は欲望だ、意味をどうでもいい。すべての生き物の目的は欲望なのだ。それぞれ欲望があるから、バラはバラらしく花を咲かせたがるし、お花はいつまでもおらしくありたいと思ってるが、お花は、お花だ……

新潟県公民館運営研究会



新潟国体健民運動四つの柱

1. 町や村をきれいにしましょう。(清潔)
2. 人には、まごころをこめて親切にしましょう(親切)
3. スポーツを積極的に実践し、健康増進につとめましょう。(健康)
4. 交通道徳を守り、事故をなくしましょう。(安全)

公民館国体推進要綱

1. 集会の時間を守る運動を推進すること。
2. 郷土の正しい理解のため、学習講座の中へとり入れること。
3. 標札や町名揭示の運動をはかること。
4. あいさつ運動の展開をはかること。
5. 市町村花いっばい運動の推進をはかること。
6. 国旗、国体旗の掲揚推進をはかること。
7. 市町村旗リレーの推進に協力すること。
8. 赤痢予防について啓蒙をはかること。

週間と公民館の重点事項

- 手洗い週間 4月5日～11日(30秒手洗いの趣旨徹底)
- 右側を歩く週間 4月12日～18日(右側通行、正しい横断、のりもののエチケット等の指導)
- 清掃週間 4月19日～25日(清掃パレード等を計画し実施する)
- 花いっばい週間 4月26日～5月2日(市町村花いっばい推進の計画と実施)
- 親切運動 5月3日～9日(郷土の正しい理解のための学習の場を設ける。また国旗、国体旗の掲揚運動の実践をはかる)
- 国体の歌普及週間 5月10日～16日(「国体の歌」と若い力)の普及)
- 大会旗リレー歓迎週間 5月17日～23日(市町村旗リレーの推進実施をはかる)
- 紙くずのない週間 5月24日～30日(紙くずやゴミの整理指導)

【全体討議】

施設費定率補助へ前進

全公連の猛運動効を奏す

昭和39年度全国公民館関係予算が施設費補助で38年度より二千八百万円を増し決定した。全公連では例年のとおり昨年末以来関係方面へ猛運動を展開した結果、大感奮の最終内容で従来の百万円頭打ち補助から定率補助を認める旨通知があった。

39年度の公民館関係予算は、大なる関係各方面への協力懇請運動と歳省から本年度同額として増額案によって、よまやく要旨つきづきの求を一切認めないむねの第一次査と取り大感奮から最後内容があった定内不があったのに対し、全公連だ。

増額する(注・39年度の予算額は一億五千六百万円となる)は一割当り補助額を最高百万円を限度とする従来の方針を改め、原則として定率補助を認める。

④設備費補助予算は本年度と同額とするも新規要求のニット・キッセン、ミシン、隠形用設備、工作用具、薬器の五品目については

ても既定予算の範囲内で補助することを認める。

最終内容のうち、予算増加に伴う「百万円頭打ち」の壁を破ることであり、さらにその実現が困難視されていた「定率補助」を原則として認められたこともあり、一ツチン、ミシン、隠形用設備、工作用具、薬器の五品目についてはなお「定率補助制度」については

予算額との関係もあり、新年度から直ちに全面的に三分の一または四分の一の補助とはならないが「百万円頭打ち」の壁を破ることであり、さらにその実現が困難視されていた「定率補助」を原則として認められたこともあり、一ツチン、ミシン、隠形用設備、工作用具、薬器の五品目についてはなお「定率補助制度」については

率制の定規をはかるための在りとして、きわめて意義の深いものであるということが出来る。

桜展とアンデス

三月から県庁の代表電話番号をはじめ県教育庁行政課等の電話番号が次のとおり変更になりました。県庁代表番号、新編055-1111。県社会教育課、県庁内線6222。県公連6224番。

県関係の新電話番号

社会教育法令集

★南米・アンデス遺跡展

昭和39年度県公連事業月別計画

月	事業名	事業内容
1月	理事会 (4)	第三四半期事業検討 (県教委に協力)
2月	評議員会 (1)	当初予算 年間プログラム審議
3月	理事会幹事会 (1)	年間計画
4月	理事会常任幹事会 (1)	年間方針の検討
5月	県教委との懇談会 (1)	上半期事業計画打ち合わせ
6月	社教関係団体協議会 (1)	情報交換、連絡提携
7月	理事会主任常任幹事会 (3)	中間反省 後半計画
8月	編集委員会 (1)	反省 下半期計画
9月	県公民館大会	高田市 七月中旬 厚生会館
10月	市長会との懇談会	公民館振興対策について
11月	監事会 (1)	前年度会計監査
12月	評議員会 (2)	前年度決算審議
1月	関東甲信越静公連大会	下半期計画
2月	理事会常任幹事会 (3)	下半期計画
3月	青少年指導者拡充研修	下半期計画

月	事業名	事業内容
1月	理事会 (5)	新年度予算計画更正予算
2月	評議員会 (3)	追加予算 分担金審議
3月	理事会 (2)	下半期事業検討
4月	評議員会 (3)	追加予算 分担金審議
5月	理事会 (5)	追加予算 分担金審議
6月	評議員会 (3)	追加予算 分担金審議
7月	理事会 (5)	追加予算 分担金審議
8月	評議員会 (3)	追加予算 分担金審議
9月	理事会 (5)	追加予算 分担金審議
10月	評議員会 (3)	追加予算 分担金審議
11月	理事会 (5)	追加予算 分担金審議
12月	評議員会 (3)	追加予算 分担金審議
1月	理事会 (5)	追加予算 分担金審議
2月	評議員会 (3)	追加予算 分担金審議
3月	理事会 (5)	追加予算 分担金審議

月別計画未定の事業

- 一、連絡協議
- 二、研修会議
- 三、県教委との共同事業
- 四、資料発行
- 五、協力事業

★公民館月報発行 諸資料記録作成 社会教育関係優良図書紹介あつせん 月刊公民館発行事務に協力

★公民館月報発行 諸資料記録作成 社会教育関係優良図書紹介あつせん 月刊公民館発行事務に協力

★公民館月報発行 諸資料記録作成 社会教育関係優良図書紹介あつせん 月刊公民館発行事務に協力

昭和39年度県公連予算

才入

款 項	目	39年度当初予算	38年度当初予算	増 減
1. 分担金		1,267,800	1,156,100	111,700
(1) 分担金		1,267,800	1,156,100	111,700
	1. 一般分担金	601,800	490,100	111,700
	2. 特別分担金	666,000	666,000	0
2. 県補助金		500,000	600,000	△ 100,000
(1) 県補助金		500,000	600,000	△ 100,000
	1. 県補助金	500,000	600,000	△ 100,000
3. 県特別補助金		200,000	350,000	△ 150,000
(1) 県特別補助金		200,000	350,000	△ 150,000
	1. 県特別補助金	200,000	350,000	△ 150,000
4. 繰越金		11,000	120,000	△ 109,000
(1) 繰越金		11,000	120,000	△ 109,000
	1. 繰越金	11,000	120,000	△ 109,000
5. 雑収入		38,000	99,300	△ 61,300
(1) 雑収入		38,000	99,300	△ 61,300
	1. 過年度収入	5,000	9,000	△ 4,000
	2. 資材販売	5,000	50,000	△ 45,000
	3. 貸付	20,000	20,000	0
	4. 雑換	8,000	20,300	△ 12,300
	計	2,016,800	2,325,400	△ 308,600

才出

款 項	目	39年度当初予算	38年度当初予算	増 減
1. 事務費		680,000	700,100	△ 20,100
(1) 給料諸費		525,000	477,100	47,900
	1. 給料	430,000	402,000	28,000
	2. 諸掛	55,000	48,600	6,400
	3. 手当	40,000	26,500	13,500
(2) 旅費		20,000	48,000	△ 28,000
(3) 需要費		20,000	48,000	△ 28,000
	1. 備品	135,000	175,000	△ 40,000
	2. 消耗品	50,000	90,000	△ 40,000
	3. 通信	50,000	50,000	0
	4. 雑費	30,000	30,000	0
	5. 雑	5,000	5,000	0
2. 事業費		1,064,000	1,215,000	△ 151,000
(1) 大会費		170,000	170,000	0
(2) 会議費		170,000	170,000	0
	1. 評議員会	130,000	150,000	△ 20,000
	2. 役員会	20,000	20,000	0
	3. 役員会	70,000	70,000	0
	4. 館主会	20,000	20,000	0
(3) 研修事業費		20,000	40,000	△ 20,000
(4) 月報発行費		100,000	160,000	△ 60,000
	1. 研修事業費	100,000	160,000	△ 60,000
	2. 報償	489,000	500,000	△ 11,000
	3. 取印	20,000	22,000	△ 2,000
	4. 印刷	96,000	96,000	0
	5. 編集	300,000	288,000	12,000
	6. 送達	13,000	15,000	△ 2,000
(5) 連絡費		60,000	79,000	△ 19,000
	1. 全国大会	120,000	135,000	△ 15,000
	2. 中央等会議	50,000	60,000	△ 10,000
(6) 振興費		70,000	75,000	△ 5,000
	1. 共催	55,000	100,000	△ 45,000
	2. 資	45,000	45,000	0
	3. 催	10,000	55,000	△ 45,000
3. 特別事業費		200,000	350,000	△ 150,000
(1) 特別事業費		200,000	350,000	△ 150,000
	1. 青少年指導者補充研修費	200,000	350,000	△ 150,000
4. 負担金		67,000	48,000	19,000
(1) 負担金		67,000	48,000	19,000
	1. 負担金	67,000	48,000	19,000
5. 償還金		5,000		
(1) 償還金		5,000		
	1. 利子	5,000		
9. 予備費		800	12,300	△ 11,500
(1) 予備費		800	12,300	△ 11,500
	1. 予備費	800	12,300	△ 11,500
	計	2,016,800	2,325,400	△ 308,600

昭和38年度 県指定文化財紹介

県文化財調査審議会(委員長松谷時太郎氏)は、まきほど県教委との諮問された昭和38年度県文化財指定物件の議案審議を行なった結果、次の九件を可決、これを県教委に答申した。県教委は三月二十二日付で正式指定したのでここに紹介する。なおこの指定は昭和27年県文化財保護条例制定以来一回を数えて初めての指定物件は今回のものをめぐって百五十六件になる。

(県社教課提供)

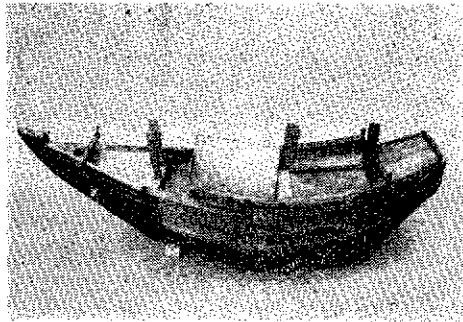


【蛟ヶ尾城跡】



【銅造懸仏】

(彫刻)
銅造菩薩立像 一軀
 中頸城郡妙高村 関山神社
 関山神社主神の本地仏、聖観音として祀られて来た仏像、像高、女神像四五、五センチ、杵材、添三センチ、火中のため彫荒が自立。彫眼像、男神像は納衣をつげ、両臂、両足を欠損するが、そとて坐る菩薩形、女神像は、の形態、様式は飛鳥時代に属し、一板分鏡に大袖中国北魏の仏像に共通するものでその従来の文化史的意義も深い。当地方最古の八金銅仏である。

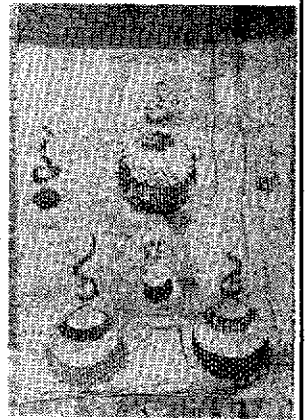


【奉納和洋船模型】

木造男神坐像 一軀
木造女神坐像 一軀
 東頸城郡牧村 三鳥社
 像高、男神像五三、二センチ、女神像四五、五センチ、杵材、添三センチ、火中のため彫荒が自立。彫眼像、男神像は納衣をつげ、両臂、両足を欠損するが、そとて坐る菩薩形、女神像は、の形態、様式は飛鳥時代に属し、一板分鏡に大袖中国北魏の仏像に共通するものでその従来の文化史的意義も深い。当地方最古の八金銅仏である。

は穏やかなまの姿をみせ、銀台上、新編等 越後近世都市の経営中期、専門の仏師によって作られ、柄巻に装綴をのこした人。本文書は大部分村上藩名家老主膳に宛てた藩の内政に関する書翰発給文書五十六通で近世初期(元和一寛永)幕藩体制成立をうかがう好史料である。

(書跡)
堀直寄文書 五十六点
 新潟市 新潟大学
 堀内後守直寄(一五七七一六—一七〇一)は上杉氏移封の後、越後に就封した堀氏の一族(監物直政次子)で、慶長三年、坂戸城、元和二年、長岡城の城主となり、同四年村上千石を領した。長岡、村



【宝珠文刺衲袈裟】

のおおらかな形姿や表情に、並安時代後期の特色がみられる。もと尾加嶽の本地としてとられたものといふ。

鏡径三〇・九センチ
 像高二六・〇センチ
宝珠文刺衲袈裟並横被 一領
 高田市 浄興寺

台製の上に小さな色裂を二面に縫いつけて模倣にした七条の刺衲袈裟である。この袈裟は特に糸の荒さに紫藍、朱を用いて美しい宝珠の文様をあらわしている逸品である。寺塔では本寺「世善性上

ベテランのプロ

川西町公民館
保坂国夫氏

ニッケンムが少年教育に最も力を入れて楽し「チベット」またく牛車に助んでいる。機転と、青年学生からは積極的な努力、明快で豊かな行「父ちゃん」上呼 動力は、パイロット精神にも適はれている。雪降 じるのであろうか。スポーツは けつした浅黒い肌 何でも好きで、県の体育指導委 に、黒髪と無精ひ にも委嘱され、陸上競技公認審 判を拝した顔、 判員となったり、スキーは一級 ギョロリと光り、 の顔前で団体出場選手である スキーの縁で結ばれた、タキ子 な風貌があたかもベトナムの 夫人は、かつて団体選手であっ 感じなのである。そして、て た。実家が料理屋で八人兄弟の らいのないユモアが口から飛 長男、二年間、東京で仕込んで び出す。親しみやすい気さく、 きた瀬頭があり「料理ならまか せてください」という彼。公民 館から「父ちゃん」なのであ 館職員なりのたの頃は、料理の 講師もやったことがあるそう だ。

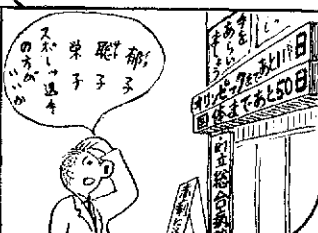


保坂 氏
 は子供がない。「ことし は、おれの長年、多にハッスルします」といって笑 わせた。(文責 編集部)

かつては若い血潮のヤキ練 に入隊、特攻隊のタマゴとして の猛訓練を受けたこともあり、 戦中派のエリートでもあった。 語のあのが一掃たという彼に 昭和三十八年(前公民館職員と は、話も豊饒で相手まで愉快 にしてしまふ公民館主事として 字とおりのベテランである。青 うつつけの雰囲気がある。昭 和三十八年生まれの彼には、ま

雨天晴天

3. 環境と志を巻



【銅造菩薩立像】

人の所持と伝える。鎌倉時代と推定される類例の少ない古銀葉の元品であり、貴重な染織資料である。元龜四年八月一日修補の遺書がある。

（民俗資料）

奉納和洋船模写 三十三点 新潟市 金山羅宮 新製後の金刀比羅宮に奉納された和洋船の模写三十三点、奥米太郎の御旗として架かれた山城。上より明治年代にわたり、妻日本旭米船の船頭屋、船頭等が御旗（天正七、八年）で府内館より安全祈願のために奉納した船模りのものがれた上、模写がここに懸けられていた。本船は我が国アヘマキ北横川である。大船分の船腹、船長で最後をとげた。頭取平野を見お限地帯（白形南、行濁北）に近く

（史跡） 岐阜尾城跡 新井市 阿波尾城跡（永徳領）春日山 阿波尾城跡（永徳領）春日山 三ノメートル、樹高二〇メートル、アヘマキはアヘマキに属する喬木で、その樹皮は、コルク層として知られている。本樹は我が国アヘマキ北横川である。大船分の船腹、船長で最後をとげた。頭取平野を見お限地帯（白形南、行濁北）に近く

（天然記念物） 富岡のアヘマキ 北蒲原郡中条町富岡部落 阿波尾城跡（永徳領）春日山 三ノメートル、樹高二〇メートル、アヘマキはアヘマキに属する喬木で、その樹皮は、コルク層として知られている。本樹は我が国アヘマキ北横川である。大船分の船腹、船長で最後をとげた。頭取平野を見お限地帯（白形南、行濁北）に近く



【富岡のアヘマキ】

（工芸） 鏡鍍 一雙付 西蒲原郡弥彦村弘彦神社 鏡鍍は平安時代の御手鍍として用いられたものである。この鍍は全面を銀鍍の鏡鍍金（びん）銀鍍の鍍層をめぐらしているもので、時代はおよそ下るが、平安時代の様式を多く（こ）と、重要文化財、京都 河内郡藤原に次ぐ典型的な遺品である。鍍層も又、古式で作られており、かつ製作技法がすぐれ保存状態も良好である。鍍あみは、正倉院、奈良手向山神社等に伝来するほかは遺品の極めて乏

しいものである。当社にかかる遺品の伝わっていることは珍重すべきものである。左の鍍、鏡は弥彦神社では元祿の記録にも源義家奉納の品と記載され、百来言い伝えられているのである。

日本人は類似が好きならぬ。東京の街を歩けば、日本料理はいくらでもあり、アメリカ風、ヨーロッパ風、中国風、インド風、ジャマイカ風、インドネシア料理まで手軽に食される。▼カヌーにして、西歐の模倣から始まって、いまはドイツやスイスと肩をならべて世界水準を誇っている。▼ひと昔間になるが、週刊誌「フーム」につられ、われわれわれも週刊誌がハンラシして五十余種が街頭をにぎわった。だが自然淘汰の法則に従って現在は優秀なものだけが残っている有様である。（公選時評より）

公民館活動と文化財

近 藤 忠 造

かつて公民館が音頭をとってのいた所もあつた。しかし文化財の価値は、それにとまらずに益踊り等を一掃する運動を起して祖先の業を、残して行つたことを記載してあるが、そのに、老父の唱う民間の中、祭神もなきに非ずであつた。過去において、新しいものを求める思潮の中に、ともすると文化遺産が残存してはな

新しいものを求めるのもよい。自分たちの立脚している次元を、常にわれわれは郷土の忘れ、そしてものなる、何でもよ。上の上になり、居るの次元を、過去と未来を結ぶ方向をたごつと思われ。各府町村を歩いて、よく聞く。ねばならない。公民館活動の方。財がなくて、ということはない。文化財がない。確かに、市理解し、活用する方向があつて。町村によつては、すぐれた美術、工芸品や、すぐれた建築、城跡、天然記念物等

大蔵遺跡

本書は五原市大蔵遺跡 続行しており、種々の石組遺跡の第一次調査の中間、構、土器品では珍しい銅器等、その刊行が、完形土器、類例の少ない腕輪状土器等から待望されて、製器等抽出されている。B5版のものである。大蔵遺跡は環状列石を伴う繩文中期の遺跡で、昭和 申し込みは五原市教育委員会 三五年以降逐年調査を、円（送付料）。

第 1 回

県広報コンクール結果

公民館報も活躍

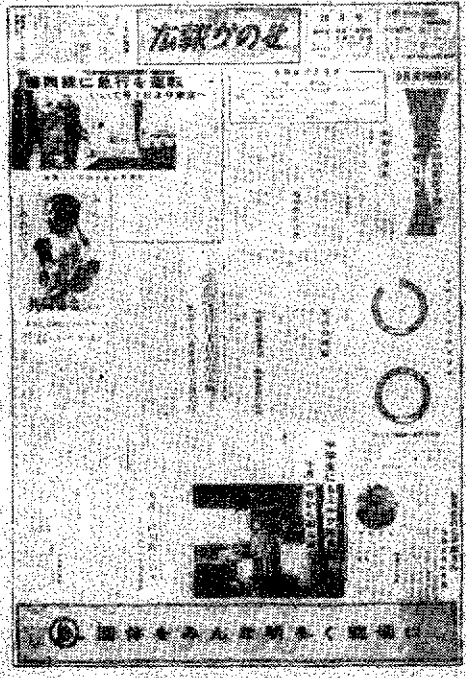
平均化してきた上位の技術

県広報協議会主催による第一回県広報コンクール審査会が、さる一月二十八日県庁で開かれた。公民館報多数をよむ必録広報五十余点のなかから知事賞の「広報かのせ」など二十八点のほか広報写真二点の入賞をきめた。このうち「広報かのせ」と市の部二位の「広報たかた」は自治会主催の全国コンクールに参加した。

このコンクール一回コンクールとして開催された。このほか佳作多数を出した。また二位の「広報こいで」三位の「白根市政だより」

審査は各報道関係、県市町村会、市広報でせしむるものもそれぞれ公委など主催、本県、県教委、県公団代表等で慎重に民館、編集発行しているもので、会協賛で腕かたに行なわれたが、年々この技術のその特色ある特集ふりが高く評価

向上とともに力が平均化してきた。県内広報のレベルは全国的にはで、昨年県広報的な広報が進出するなど人倫順位 決して高いとはいえず、今後の間協議会の誕生をにも微妙に作用していた。公民館報としては、編集関係者の努力も機に新ためて第報は三位に入賞した「館報まきむ」さるものながら、市町村理事者の



【知事賞の広報かのせ】

全面的理解と関係予算の増額が望まれている。表彰式は四月頃行なわれる予定入賞作品、次のとおり。
▽知事賞 広報かのせ十月号(廣瀬町)
▽市の部一位「広報たかた九月号」二位「いといがわ十二月号」
▽新潟市政だより九月号「三位」
「市広報こいで九月号」「市報とおかまち十月号」「市政だより(長岡)十二月号」佳作「三条市政だより」「市報おぢや」「加茂市政だより」「広報ともお」「白根市政だより」
▽町村の部一位「広報おうふ十二月号」二位「広報こいで八月号」
「広報能生町三月号」三位「とよさか広報一月号」「館報まきむ六月号」「広報てらしまり二月号」佳作「館報すいはら」「中条町だより」「館報くわかわ」「守門」「新生」「広報

芝生38年度版のちえ(新潟強中央委員会)町つくり(堀之内町)館報まきむ(稲穂村)折尾新聞、広報こ生(同青年学級)芝生の友(新潟市芝生の会)県外に友を求めて(巻面)公民館の(岩室村)津川町公民館報、村上市民館報、協力(新潟行政監察局)ひこし、王寺川公民館報(長岡市中央)新生(八広郷村)広報かわにし(川西町)

「かわにし」「広報おしま」「広報おがた」「公民館報さわた」「安曇町公民館報」「広報写真の部入賞」雪の夜まわり(てらしまり)「雲雪特集(三条)」「市政協議会(燕)」
「夏の日馬(糸魚川)」
優良図書
用字用例の「決定版」
当用漢字、送りがな、筆順
例解辞典
編者 白石大二
(前文部省国語課長)
帝國地方行政学会発行
B5判、上製箱入 六四〇頁
定価四八〇円
公用文書書くとき、新聞、雑誌を編集するとき、立案するときその他文章を書かなければならぬいざあゆむときに、この辞典を、ご利用ください。一申し込めば県公連へ

「かわにし」「広報おしま」「広報おがた」「公民館報さわた」「安曇町公民館報」「広報写真の部入賞」雪の夜まわり(てらしまり)「雲雪特集(三条)」「市政協議会(燕)」
「夏の日馬(糸魚川)」
優良図書
用字用例の「決定版」
当用漢字、送りがな、筆順
例解辞典
編者 白石大二
(前文部省国語課長)
帝國地方行政学会発行
B5判、上製箱入 六四〇頁
定価四八〇円
公用文書書くとき、新聞、雑誌を編集するとき、立案するときその他文章を書かなければならぬいざあゆむときに、この辞典を、ご利用ください。一申し込めば県公連へ



【写真は熱心な歌会】
濃産地過去いくはくの盛衰を経しかまた上産地形成論
波山牧家
木枯しが窓を鳴らせば幼児は風にも手ありと我に告げる
山木葉子
やわらかき櫓灯に浮きて如の顔
あおむけに背れ生きていたり
松野露道
要路の榎木林は落葉して帯のごとくむらたて見ゆ
新潟県之介
(文責・編集部)

われらのグルッペ
昭和三十六年度の動力あふくまなまなみ
全国優良公民館の地歩は確固たるものにしたの
つとして表彰された。われわれは、このさきか
東頸城郡牧村公民館な山村に居住し、部会の風潮に
「やまなみ」短歌染まらず、自然と、生活を探求
会がある。十餘年も持続し、誌は、通巻
一八号を突破して、裏面目に、素朴に詠い続
りて来たのだ。そして、なほ、限りなく詠い続けてゆくたろ
う。と発行人の柴田康三氏はいう。
かつて、新潟日報にも、大き
くとりあげられたことなどもあ
って、村外からの新人の参加も
あり、それも特に女性が多く、
素朴ながらも活気があふれ、
今後ますます充実発展してゆ
くことであろう。
【写真は熱心な歌会】

ある婦人会長の手紙から

北原 克二

この現実を目を向けよう

本県のある地区の婦人会長から、こんな意味の手紙をもらったので

「日頃の会員のいろいろな悩みをまとめてみたら次のまじになるよ。うですが、それについて話をしてほしい」ということ

「や」と仕事がかたがたしてやれやれと思えばもう主人は出稼ぎにでなければならぬ。子どものことも家のこともゆっくり話しよう期間というものも一年中ほとんどない。加えて家に残っている妻は雪の降るまでは現金を得るために土にたがなければならぬ。これでは生きていく甲斐もないみたいだ。

2、物物は急にくれ上がった。働

きば割れない。大きな赤字をかかえてどうしたらいいのか。

3、土日に朝、暗い中から出て、夜七時頃帰ってくる。夜新聞を見ることもできないほど。婦人会にてお話をききたくてもそれどころではない。

4、兼業農家は賃金値上りと人手不足に行きつき、明日にもわす

かた地を手はなさねばならぬ。こうした問題をどうつけられたらいいか。私には、幾日も考えてくれなさい。そして私なりに意見を出した。みましたが、それと同時にこの地区の婦人会の方々が自分たちの生活、自分たちのあわせというものを考えるを得ない立場と、またその生活を切り開いていくという意欲に敬意を表したので

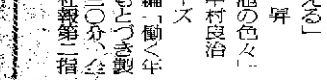
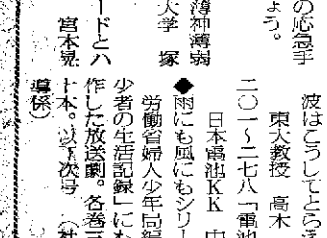
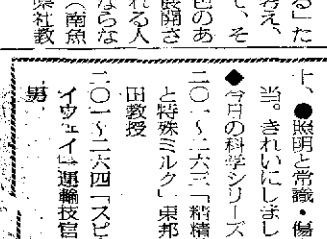
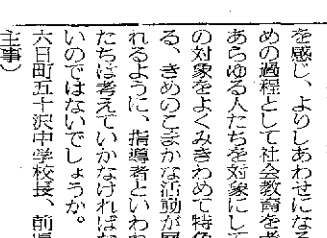
るいわゆる商品生産農家は、米のほかに野菜類はすぐ近くの都市に売るので日せに入ってくる、まだ最近の住宅街の近郊へ進出に

が今では一万円前後にも売れるというので、ふとこころはますます

ただかくなり、笑いがとまらない。ところがこころもあるようです。こうした農家は良き家の主といわれるほどの邸宅を持ち、その納屋(作業場)だけでも魚沼方面の農家へらしいのを持っています。多量です。そしてその子弟を(うら)ん都会の大学に学ばせて

いるという、同じ農家でもかくものほかに野菜類はすぐ近くの都市に売るので日せに入ってくる、まだ最近の住宅街の近郊へ進出に

てみましたが、それと同時にこの地区の婦人会の方々が自分たちの生活、自分たちのあわせというものを考えるを得ない立場と、またその生活を切り開いていくという意欲に敬意を表したので



変ぼうのなかの裏おもて

大体魚沼地方は耕地も少なく、一般に農業従事者の生活は楽でないと思えます。ところが本県の農家がみなこういふ傾向というわけでは四十九パーセントで他の都市もなないと思えます。中越でもら

とくろべてかなり低いということ場の都市近郊の農家は、かなり

の耕作地を持ち、米をたくさんと

がでますが、これも質いいとい

うことが一つの原因と考えられる

と思えます。ところが本県の農家がみなこういふ傾向というわけ

では四十九パーセントで他の都市もなないと思えます。中越でもら

とくろべてかなり低いということ場の都市近郊の農家は、かなり

の耕作地を持ち、米をたくさんと

がでますが、これも質いいとい

うことが一つの原因と考えられる

と思えます。ところが本県の農家がみなこういふ傾向というわけ

では四十九パーセントで他の都市もなないと思えます。中越でもら

とくろべてかなり低いということ場の都市近郊の農家は、かなり

一本調子の社会教育

さて世の中にはこうした人たちはかりと限りません。かねもあ

りひまもあるという人もたくさんあると思えます。こうなってきま

す上社会教育も単純な一本調子で

いかなることになってきます。た

とせば、かねもひまもある人たち

にしても、余暇活用というよう

な

面できらに生活にはりと生き甲斐

を感じさせる方向や、他人や社会のために役立つことに活動して、

な方向が考えられるべきではないかと思ひます。

いろいろ利害相反し、考え方も多様な複雑な社会ですが「も」と

くらしを高め、豊かにし、生きがいを感じ、よりしあわせになる」た

めの過程として社会教育を考へ、

あらゆる人たちに対象にして、そ

の対象をよくききわけて特色のある、

きめのこまかな活動が展開される

ように、指導者といわれる人

たちは考へていかなければならぬ

いのではないだろうか。(南原

六日町五十沢中学校校長、前県社

主事)

新着録音教材紹介

- 一七三「く」生活豆辞典(二〇一〜二六五)都市と水道
- 一七四「く」番湯・脳いっ血 気象研究所 荒川秀俊、ほか
- 一七五「く」あくびと首のび・怒ると 国立科学博物館 尾崎博
- 一七六「く」消化が悪い・夢のはなし (二〇一〜二七二)超音速旅客名
- 一七七「く」冬を温く・暖気器具の使 機 東大工学部航空学科 出
- 一七八「く」火災を防ぐには 玉夫
- 一七九「く」化粧のはなし・ビニル (二〇一〜二七三)特に役立つ
- 一八〇「く」使い方・買ひ方 買ひ方 人工衛星」科学評論家奥田教
- 一八一「く」主婦の一日・記録は教え る・ご存知ですかエンゲル系 (二〇一〜二七四)星雲の爆発を

- 一八二「く」テレビの見方 人へのうわさ・失
- 一八三「く」改は成功のもと
- 一八四「く」ぬかみその科
- 一八五「く」学・保存食を考へ
- 一八六「く」なおそう・インス
- 一八七「く」タンパク食品
- 一八八「く」生活とカビ・食へあわせ
- 一八九「く」自分の体調を知っておく
- 一九〇「く」水の知識・雷・不快指数
- 一九一「く」と養ひ
- 一九二「く」照明と常識・傷の応急手
- 一九三「く」当。きれいにしましょう。
- 一九四「く」今日の科学シリーズ
- 一九五「く」二〇一〜二六三「精糖薄神薄弱
- 一九六「く」と特殊ミルク」東邦大学 家
- 一九七「く」田教授
- 一九八「く」二〇一〜二六四「スピードとハ
- 一九九「く」イウェイ」運輸技官 宮本寛
- 二〇〇「く」上本。以下次号 (社報第

- 二〇一「く」雨にも風にもシリーズ
- 二〇二「く」日本高田K.K. 中村皮治
- 二〇三「く」労働省婦人少年局編「働く年
- 二〇四「く」少者の生活記録」にもつぎ製
- 二〇五「く」作した放送劇。各巻三分、全
- 二〇六「く」十一本。以下次号 (社報第
- 二〇七「く」編)

- 二〇八「く」東大教授 中武天
- 二〇九「く」五「ガラス
- 二一〇「く」のニューフ
- 二一一「く」エイズ」研
- 二一二「く」究家 会田軍太夫
- 二一三「く」二〇一〜二七六「明日の自動車
- 二一四「く」エンジン」明治大学 高家清
- 二一五「く」教授
- 二一六「く」二〇一〜二七七「通信衛星の電
- 二一七「く」波はこうしてとらえる」
- 二一八「く」東大教授 高木 屏
- 二一九「く」二〇一〜二七八「電油の色々」
- 二二〇「く」日本高田K.K. 中村皮治
- 二二一「く」雨にも風にもシリーズ
- 二二二「く」労働省婦人少年局編「働く年
- 二二三「く」少者の生活記録」にもつぎ製
- 二二四「く」作した放送劇。各巻三分、全
- 二二五「く」十一本。以下次号 (社報第
- 二二六「く」編)

- 二二七「く」東大教授 中武天
- 二二八「く」五「ガラス
- 二二九「く」のニューフ
- 二三〇「く」エイズ」研
- 二三一「く」究家 会田軍太夫
- 二三二「く」二〇一〜二七六「明日の自動車
- 二三三「く」エンジン」明治大学 高家清
- 二三四「く」教授
- 二三五「く」二〇一〜二七七「通信衛星の電
- 二三六「く」波はこうしてとらえる」
- 二三七「く」東大教授 高木 屏
- 二三八「く」二〇一〜二七八「電油の色々」
- 二三九「く」日本高田K.K. 中村皮治
- 二十四「く」雨にも風にもシリーズ
- 二四一「く」労働省婦人少年局編「働く年
- 二四二「く」少者の生活記録」にもつぎ製
- 二四三「く」作した放送劇。各巻三分、全
- 二四四「く」十一本。以下次号 (社報第
- 二四五「く」編)

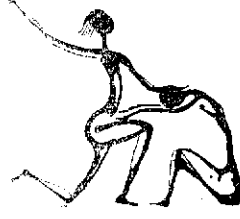
- 二四六「く」東大教授 中武天
- 二四七「く」五「ガラス
- 二四八「く」のニューフ
- 二四九「く」エイズ」研
- 二五〇「く」究家 会田軍太夫
- 二五一「く」二〇一〜二七六「明日の自動車
- 二五二「く」エンジン」明治大学 高家清
- 二五三「く」教授
- 二五四「く」二〇一〜二七七「通信衛星の電
- 二五五「く」波はこうしてとらえる」
- 二五六「く」東大教授 高木 屏
- 二五七「く」二〇一〜二七八「電油の色々」
- 二五八「く」日本高田K.K. 中村皮治
- 二五九「く」雨にも風にもシリーズ
- 二六〇「く」労働省婦人少年局編「働く年
- 二六一「く」少者の生活記録」にもつぎ製
- 二六二「く」作した放送劇。各巻三分、全
- 二六三「く」十一本。以下次号 (社報第
- 二六四「く」編)

- 二六五「く」東大教授 中武天
- 二六六「く」五「ガラス
- 二六七「く」のニューフ
- 二六八「く」エイズ」研
- 二六九「く」究家 会田軍太夫
- 二七〇「く」二〇一〜二七六「明日の自動車
- 二七一「く」エンジン」明治大学 高家清
- 二七二「く」教授
- 二七三「く」二〇一〜二七七「通信衛星の電
- 二七四「く」波はこうしてとらえる」
- 二七五「く」東大教授 高木 屏
- 二七六「く」二〇一〜二七八「電油の色々」
- 二七七「く」日本高田K.K. 中村皮治
- 二七八「く」雨にも風にもシリーズ
- 二七九「く」労働省婦人少年局編「働く年
- 二八〇「く」少者の生活記録」にもつぎ製
- 二八一「く」作した放送劇。各巻三分、全
- 二八二「く」十一本。以下次号 (社報第
- 二八三「く」編)

- 二八四「く」東大教授 中武天
- 二八五「く」五「ガラス
- 二八六「く」のニューフ
- 二八七「く」エイズ」研
- 二八八「く」究家 会田軍太夫
- 二八九「く」二〇一〜二七六「明日の自動車
- 二九〇「く」エンジン」明治大学 高家清
- 二九一「く」教授
- 二九二「く」二〇一〜二七七「通信衛星の電
- 二九三「く」波はこうしてとらえる」
- 二九四「く」東大教授 高木 屏
- 二九五「く」二〇一〜二七八「電油の色々」
- 二九六「く」日本高田K.K. 中村皮治
- 二九七「く」雨にも風にもシリーズ
- 二九八「く」労働省婦人少年局編「働く年
- 二九九「く」少者の生活記録」にもつぎ製
- 三〇〇「く」作した放送劇。各巻三分、全
- 三〇一「く」十一本。以下次号 (社報第
- 三〇二「く」編)

女性はどの程度に強くなったか

花野 長次郎



戦後強くなったのは「女子」として、一別待遇を一切排除し、全く男女平等の立場をとるといふ大改正が行なわれた。また刑法においても

戦後強くなったのは「女子」として、一別待遇を一切排除し、全く男女平等の立場をとるといふ大改正が行なわれた。また刑法においても

に生れけり」というようになった夫婦げんかにしても男は奥の手を封ぜられ、また慰謝料にしても男が支払うのが大部分というようである。男女同権、自由平等といっ

(中条町公民館長)

出稼ぎをなくしたい

ある中学生の手記から

私の父や、近所の力のある男の人たちは、冬になるとたいいてい、出稼ぎを言つては、あまの好

ことば三昧

「おもち」の語、オカマ、オボソ、オナベ、オムレン、オムライス、オ、からつけたがる。おもち、おた

青木 英治

現代、敬語を使ったがる婦人は、たべ物になるもの、タマネギ、キュウリ、ヤマイモ

ことば三昧に教えられて

村に火事が起つたというのである。それが町まで運んでくれるのだ、よいか。そこで出稼ぎをしなくて

あとかき

本館を編集中に県教育委員の移動、配属、転任等があり、谷田長は新津高校長に、金井第二指導員は曾之木小中学校長に